



学校法人国学院大学の公式ホームページでは、傘下各校の行事や取り組み等を公開しています。左記の二次元コードからは是非ご覧ください。

学報 News CATY

2024年3月

第156号

発行/国学院大学
北海道短期大学部
滝川市文京町3-1-1
TEL.0125-23-4111 FAX.0125-23-5590
広報委員長 佐野 博之

ハンドボールで国体、日本選手権出場



第75回日本選手権の中央大学戦

この度は栄誉ある学長賞を頂戴し、誠に光栄です。私は中学校からハンドボールを始め、短大に入学してからの2年間で国民体育大会1回、日本選手権2回、全国大会に3度出場いたしました。北海道の地でハンドボールをすることができたのは本州にいる家族をはじめとして、国文学科の先生、学生支援課職員の方々、友人などの支えがあったからこそと痛感しています。全国大会前には、先生や友人に「頑張っ来てね!」など温かい言葉をかけていただき、何の心配もなく全力で大会に臨むことができました。結果としては、回戦敗退になってしまいましたが、自分ができることは全部やりきったので後悔は何もありません。

多くの人に支えられて 国文学科 本間 修自

全日本学生・ジュニア短歌大会2年連続入賞



句歌会主宰の月岡先生と

短大入学時の抱負が「挑戦」だった。かれこれ19年生きて自ら動かなければ何のイベントも起らないことを学んだ。この3年間でSNSや政治の世界にまで手を伸ばしたが、その一歩目が存続のきっかけになった。主宰の月岡道晴教授の元を訪れ、部員を集めることから始めた。一人一人声を掛けていき、主要な活動である歌会を行える人数が集まって現在は後輩もいる。これは短歌AIの影響もあってだろう。また句歌会では機関誌の頒布も行い、文学リマでは多くの方に手にとりたてて励みになった。句歌会での活動をほめて、短大の2年間は短いものになった。高校3年生の夏、急ぎよ進路を変え、私はこの国学院大学北海道短期大学部に入学した。道内外の人との交流や旭川、川内間の電車通学、国文学の勉強、全てが初めて刺激的な毎日でもあった。時には不安になることもあったが、先生や友人、多くの周りの方に支えられてきたおかげで卒業できたのだと思えます。特にお世話になった秋山先生、佐野先生、教職課程の授業を履修していた仲間たちにはとても感謝しています。

優れた学生生活活動に学長賞を授与

この2年間でたくさんの方に支えられて充実した短大生活を送ることができました。国学院大学に編入入学し、その後は教員になりたいと考えています。与えられる人から与える人へと少しずつ成長していきます。この度はありがとうございます!

卒業特集

未来へ力強く抱負

令和5年度卒業生の進路

令和6年度国学院大学3年次への編入生者が決定しました。国学院大学の5学部11学科へ、124名の学生が令和6年4月から東京渋谷キャンパス及び横浜たまプラーザキャンパスで学ぶこととなります。なお、その他の4年制大学では、札幌大学1名、国士舘大学1名、関東学院大学1名、東洋学園大学1名、明海大学1名、国立波方海上技術短期大学校1名の編入生が決定しています。

学部	学科	推薦者数
文学部	哲学	9
	史学	14
	日本文学	22
経済学部	中国文学	1
	外国語文化	12
法学部	経済学	23
	経営学	22
神道文化学部	法律学	3
	法医学	3
人間開発学部	神道文化	8
	初等教育	4
合計	健康体育	6
	合計	124

また、主な就職先は、滝川市役所、砂川市役所、歌志内市役所、北海道教育委員会(小学校教諭、中学校教諭)、旭川市(保育士)、三笠市(保育士)、礼文町(保育士)、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、北門信用金庫、北知信用金庫、北見信用金庫、ANA新千歳空港(株)、(福)滝川市社会福祉事業団、(学)華園学園新十津川保育園、(学)北野学園認定こども園札幌きたの幼稚園などです。



21世紀の今を考える人に

国学院大学北海道短期大学部 学長 平野 泰樹

卒業おめでとうございます。皆さん、物欲により戦争や地球環境の破壊を招き、これからの将来を危惧する声もあふれています。資本主義も富への欲も、幾つもの深刻な課題を抱える21世紀を生きる人々です。一言でいえば、望む人類を自滅させることから、人間は欲望の生き物です。欲望はより豊かで便利な生活を求め科学技術を開発し、文明や文化を生み出してきました。同時に、欲望は支配欲、権力欲、軍事力の競争を生み出してきました。人類存続に関わる地球温暖化についても、多くの国が経済のダメージを憂慮し必要な酸化炭素削減をみ切れずにいます。行き過ぎた支配欲、権力欲、物欲に陥らないためには、どうに制御していけばいいのか、21世紀を生きる皆さんは是非これらを考える人になってほしいです。

多くの人に感謝 教員の道へまい進



今、教職課程を履修している1年生の皆さん、大変なことも多いとは思いますが、最後まで諦めず自分にできることをやり遂げ、教員免許取得に向けて精進して欲しいと思います。私は、春から北海道

思い出を胸に憧れの小学校教員へ



国学院短大に入学してから、あっという間に1年が経ちました。一人暮らしの生活がほとんどで、気の合う友達にも出会えず、とても楽しい2年間で、先生の授業では、大学の教材でジャガイモ、ヒマワリ、アサガオなどたくさん植物を育てたり、小学校の模擬授業を何度も行ったことで、身体的にも精神的にも苦しくなりました。しかし、実際に行ってみると毎日充実しており、3週間という期間がとても短く感じられました。

短大部での経験生かし積極的に挑戦



私が2年間幼児保育コースで学んで一番印象に残っているのは、活動です。田中ゼミの活動は初めての体験ばかりでしたが、特に印象深かったのは、大学構内にある「アウトラキャンパス」で、採用試験や教育実習、就職に向けての学修などとても慌ただしい



総合教養学科 舛井雄一教授

16年間の勤務に感謝

卒業おめでとうございます。卒業おめでとうございます。そして1年生の皆さんは短大の1年間の経験が、日々の生活で吸収し、生徒や周りの人のことを考える人間になることができると信じています。短大では総合教養学科の教員として、主に大学生と地域が連携して取り組んでいます。

本年度で退職の教員からメッセージ

その結果、学生たちが私の期待を遥かに超える成長を遂げてきました。滝川に身を投じたチャレンジャー精神を社会でも遺憾なく発揮し、活躍する卒業生たちの存在が私の教員としての原動力となっています。何事にも必死に取組む学生の日々は、本当に幸せでした。また、大学生と地域



総合教養学科 佐野博之教授

建学の精神から学ぶ

身である皇典講究所が、日本人の本来の道に目を向け、建学の精神を再認識するための創設された「建学の精神」講座が、学生の方々に広く浸透してきています。学生の方々に、建学の精神が、私たちに日本人として

夢を実現するために努力惜しまないで



自分の将来の夢や目標を、生かして一生懸命頑張ります。(幼児児童教育2年/佐々木美羽)

から、将来の夢を勝手に諦めてしまう場合が多いからだと考えますが、なぜなら自分自身目標を達成していく努力が必要だと思えます。そのためには毎日の生活の中で何かを我慢したり、あえて困難に取り組みたりすることが重要であると考えました。

私は、「英語教師になる」という夢を、4月から叶えられることになりました。今振り返ってみると、夢を叶えることができたのは、

思うだけではなく、常に目標実現のために惜しみない努力と、強い覚悟を意識しながら身につけてきた知識や技能があったからこそだと思います。

北海道内の中学校の英語教師として、これまで身につけた知識や技能を最大限に活用し、これまで以上に、努力を惜しまず覚悟を持ちながら、「生徒に信頼される教師」となることができたいと考えています。(総合教養学科2年/寺嶋詞音)

本来的な「道」を探る機会としてきました。私たちが日常生活の中で、「本来の道」を意識することは少ないと思いますが、この「道」を「心の道」ととらえるならば、自分自身の道標となりうるのではないのでしょうか。卒業するみなさんには、是非とも、このことを意識し、自己理解、他者理解、人間理解、自然理解などに努めることを願います。